

富士山静岡空港の収支試算結果

I パターン1 (空港管理運営に係る収支)

1 キャッシュフローベースの収支 (単位:千円)

区 分	23年度 a	22年度 b	差引額(a-b)	増減率(%)
収入	153,254	258,459	△105,205	△40.7%
支出	684,693	671,633	13,060	1.9%
収支	△531,439	△413,174	△118,265	△28.6%

収支増減の主な要因: 収入は着陸料単価の改定により減少し、支出は3年毎に実施される定期検査に伴う経費等が増加し、収支は約1億1千8百万円、対前年度比28.6%悪化した。

2 企業会計の考え方を取り入れた収支 (単位:千円)

区 分	23年度 a	22年度 b	差引額(a-b)	増減率(%)
営業収益+営業外収益	145,475	254,461	△108,986	△42.8%
営業費用+営業外費用	679,128	673,155	5,973	0.9%
経常損益	△533,653	△418,694	△114,959	△27.5%

経常損益増減の主な要因: 収益は着陸料単価の改定により減少し、費用は3年毎に実施される定期検査に伴う経費等が増加し、経常損益は約1億1千5百万円、対前年度比27.5%悪化した。

II パターン2 (空港管理運営及び空港整備に係る収支)

1 キャッシュフローベースの収支 (単位:千円)

区 分	23年度 a	22年度 b	差引額(a-b)	増減率(%)
収入	557,738	739,881	△182,143	△24.6%
支出	2,346,025	1,983,956	362,069	18.2%
収支	△1,788,287	△1,244,075	△544,212	△43.7%

収支増減の主な要因: 収入は着陸料単価の改定及び国交付金充当額の減少により減り、支出はターミナル地区西側整備事業実施に伴う増加及び借入金償還金の増加により増え、収支は約5億4千万円、対前年度比43.7%悪化した。

2 企業会計の考え方を取り入れた収支 (単位:千円)

区 分	23年度 a	22年度 b	差引額(a-b)	増減率(%)
営業収益+営業外収益	222,531	388,536	△166,005	△42.7%
営業費用+営業外費用	1,919,993	1,955,875	△35,882	△1.8%
経常損益	△1,697,462	△1,567,339	△130,123	△8.3%

経常損益増減の主な要因: 収益は着陸料単価の改定及び国交付金充当額の減少により減り、費用については前年度並となり、経常損益は約1億3千万円、対前年度比8.3%悪化した。